

# 時の概念

---

与沢翼 2017年最新版

第9話 時間を経るごとに豊かになる法則

# 第8話の要約

---

時代の変化速度が著しく早くなっている。

2027年は別世界と呼んでもおかしくないほど変わっていると想定し、適合的に生きるべき。

時代の先端を生き抜く超個人としての力を身に付けるべきである。

そのためのキーワードは高度の専門性にある。

本第9話では、時の概念について説明する。

# 成功するためには、目線を上げよ

---

私が10代からずっと意識してきたこと。

それは遠くを見ること。

今なぜこれをやるのかと聞かれれば、それは将来のためだからだ、と答えてきた。

目線を未来にずらし、将来のために今を生きるという考え方に、シフトすべきである。

すると不思議なことが起きる。

年々結果が出る。

短期を意識しないのに短期的に結果が出るようになるのだ。

未来を見て動けば動くほど、結局短期的なことも上手くいくようになっている。

当然、長期間経過した未来は、別ものである。

# 長期投資のポイントはフォーカス

---

フォーカス投資という言葉がある。

卓越した投資家は、いたずらに分散しない。

なぜなら、平均を超える銘柄を保有することで、平均を超えるリターンを得るのが正しい投資だからだ。

大切なことは、生涯保有する長期的な覚悟をもって、特定少数の厳選した銘柄を保有すること。

資産状況によるが、資産が少なくて2から3、多くても最大10程度の銘柄である。

分散しすぎるということは、悪いものも入ってくるということだ。

悪いものが入れば全体のリターンも下がる。

実は、このフォーカス投資の考え方は人生そのものにも、当てはまる。

# 人生もフォーカス投資すべき。

---

長期投資上分散すればするほどリターンは悪化する傾向にある、という客観的なデータがある。ファンドの銘柄分散数とリターンを計測したものである。また、銘柄入れ替えが多いファンドの成績も軒並み低下することが分かっている。

大切なことは、入れ替えをせず、ごく少数の選び抜かれた銘柄を長期的に保有し、キャピタル＋インカムを積んでいくということ。

人生に応用するならば、やるべきこと、お付き合いする人、学ぶべき人などをフォーカスすること。入れ替えるのではなく、自分が仕事や人間関係などを厳選し、フォーカスして、入れ替えることなく、長年向き合うことだ。これができないなら投資はなおできない。実際の数字として損失があなたを襲う。

だから私は、ばあちゃん、じいちゃんになるまで妻とも離婚しないし、自分が情熱を、投資分野以外に傾けることは今後1億%ありえない。

人生も投資もフォーカス。すると、時間経過とともに豊かになっていくことを確認して欲しい。

# 時の経過が利益の源泉となる人生

---

私は、19歳よりも20歳、20歳よりも21歳と歳を経るごとに毎年、人生が豊かになってきた。

つまり、歳を経るだけ幸せと豊かさが増している実感がある。

その理由は、将来のために今日を生きている、たったそれだけである。

10年先を見て、人生をフォーカスして、真面目に取り組んでいると、良いことが起きないわけではない。

目線を常に上げて、遠い未来を見つめるべきである。

金輪際、短期的な妄想は一切描かぬ方が良い。長期的な妄想は叶うが短期的な妄想は絶対に叶わない。今年だけで、すぐに金持ちになろうとすることなどは、大変愚かだ。

あなたは誰と付き合い、何を学び、どういう仕事をするのか？

長期株投資をせずとも、既に、皆さんは人生における投資判断を今この瞬間も迫られている。

# 人間は皆投資家である。

---

有限の時間、有限のお金、有限のエネルギーを、どこに傾けるのか、長期投資家であれば、資本を配分する段階でこの決断をするが、投資家でなくても、人間は皆、これと同様の重要さで人生を意思決定している。

つまり、選択眼が鍛えられていなければ、無駄なことにお金を使い、無駄な人間関係を続け、将来のためにならない仕事をするようになる。

気付いた時には、歳を重ねており、挽回は著しく難しく感じられる。

つまり、私たちは今日この瞬間にも投資家としてテストされている。

大切なものを見極め、時間をそこに注ぎ、それを大切に、将来のために今日を使うという考え方にシフトすると、来年、再来年には早くも収穫が始まるのである。

我々は全員投資家である。人生をどこに賭けるのか、それを選び抜く力が求められている。

# 目を覚ませ

---

大切に無限の可能性に満ちた人生をどう生かすか、ありきたりの言葉であるが、これはまさにその通りである。

人にはそれぞれ無限の可能性がある、自分にはないものばかりをねだることなく、自分にあるものを使いこなして成功するのが人生の意義である。

いつまでもふらふらしたり、決められずに、あっちへいき、こっちへいき、考え方を尋ねてもとにかく薄っぺらい。これだと、本気で、笑わせるなど、私は言いたい。

自分の信念の前には、批判も噂も妨害も中傷も無力である。信念ある人は他者とは関係なく、必ず突き進む。多少の雑音で辞めるぐらいなら、あなたには信念がない。

表層的な話につられて、ふらふらしているのが最もみっともないし、何よりもつたいない。

良いものを見つけだし、それを大切に長年保有、育成していくのが、人生である。